



オンライン 2026 語り部LIVE



東日本大震災から15年が経ち、当時を知らない子どもたち、幼かった子どもたちも小学生・中学生・高校生と成長しています。日本赤十字社宮城県支部は、JRC加盟校の子どもたちに被災地の想いを繋ぎ、災害発生時には自分のいのちをしっかりと守ることができるよう公益社団法人3.11メモリアルネットワークと協働して、

語り部さんの生の声をZoomで配信します。

語り部LIVEの様子はこちら！



東北大学災害科学国際研究所 佐藤翔輔准教授もJRC語り部LIVEを推薦！

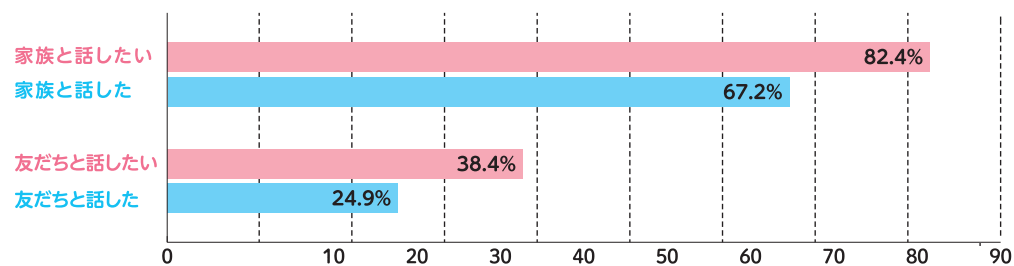


防災教育のコツは「災害を我がこととして考えてもらう」ことにあります。その効果的な方法のひとつが、語り部さんから体験を聴くことで、災害を「追体験」「疑似体験」することです。ぜひ、ご参加いただき災害を乗り越える力を身につけましょう。

※参加する子どもたちへのアンケート調査の設計・分析で日赤と連携しています。

2021～2025年度の調査結果

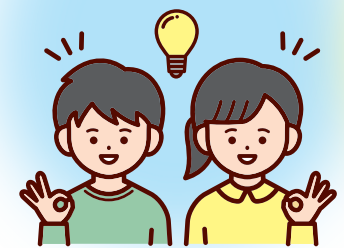
語り部LIVEを視聴して子どもたちにこんな**行動変容**が！ n=3,876



語り部さんのお話を聞いた直後に「誰かに話したい」と思っていた子どもたちの多くが実際に語り部さんから聞いたお話を家族や友達に伝えています。



子どもたちが災害を自分事として考えられる！



全国のJRC加盟小学校～高校と一緒に視聴できる！



感想用紙で「自分の言葉にする」振り返りができる！



参加費無料

JRC語り部LIVEを取り入れた防災教育例



神奈川県 相模原市立緑が丘中学校

1年は県防災センター、2年は鎌倉・横浜を防災の視点で見学、3年で東北修学旅行という継続した防災減災学習を行っています。JRC語り部LIVEで学んだことを生かし、修学旅行では石巻と松島で貴重な体験ができました。今後はこの学びを地元地域の防災に繋げていきます。



神奈川県 湘南学院高等学校

語り部LIVEに毎年参加し、防災への備えや身近な人との対話の大切さを学びました。その学びから市内で開催される赤十字防災運動会にも参加し、世代を超えた交流を楽しみながら、防災について地域で考える活動に繋がっています。



鹿児島県 徳之島町立亀徳小学校

本校ではオンライン語り部LIVEへの参加や避難訓練に加え、災害発生の仕組みや防災知識についてクイズや話し合い等で学び、理解を深めています。消防署や社協と連携した体験活動も行い、学んだことを地域に発信する防災学習発表会も実施しています。



青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」もぜひご活用ください！

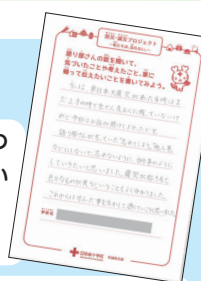


子どもたちの感想

私は大きな地震にあったことはないけれど、いつ地震が起きるか分からないので、家族で話し合いをしたり、じゅんぴをしておきたいと思いました。(小学生)

改めて命の大切さに気付くことができました。家族や友達と今できることが何なのか確認して災害に備えたいです。(中学生)

「自分は大丈夫。」などと油断することが危険だと知りました。災害への備えは「地域を知る」ことから始めればよいと分かりました。(高校生)



先生方の感想

語り部さんの体験を聞き、自分にも起こり得ることだと感じることができたようです。(小学校の先生)

語り部さんの後悔やその瞬間の思いも聞かせていただき、今後の防災学習にもつながる時間になりました。(中学校の先生)

生徒は自分の身に引きつけてお話を聞くことができたようです。地域のハザードマップについてなど、今できることへの関心が高まりました。(高校の先生)

参加校・参加者数

(年度により、時間・参加条件が異なるため、参加校・参加者数はのべ数です。)

語り部さんのお話を多くの子どもたちに聞いてもらい、子どもたちが学校、家庭、地域で語り手となり、いのちを守ることを期待しています！

**2020年～2025年度
全国455校 33,755人が参加!!**



離れている人を守る為に

伝えるポイント

- 大切な人を守る方法
- 当時の避難行動の選択を体験

12月10日(木) 13:30～14:10

中学生

12月10日(木) 16:00～16:40

高校生

紺野 堅太

こんの けんた

岩手県金崎市出身。釜石東中学校1年生の時に東日本大震災を経験。[釜石の奇跡]の一人として率先避難を行い、鶴住居小学校や近隣住民と共に生き延びる。中学2年時は隣の中学校の校舎を間借り、3年生は仮設校舎で過ごし、1年毎に校舎が変わる中学時代を過ごす。釜石東中学校では語り部活動、大槌高等学校では復興活動に取り組む。愛知県の企業に勤めながら2022年から震災語り部活動を開始。

5歳の私が経験した東日本大震災～命を守るために～

伝えるポイント

- 災害は、当たり前の日常を一瞬で奪う
- 命を守るために、日頃から防災について考え、備える

12月15日(火) 13:30～14:10

中学生

1月26日(火) 13:30～14:10

小学校3・4年生

畠山 興斗

はたけやま おきと

宮城県南三陸町出身。震災当時5歳で、保育所で東日本大震災を経験。津波からの避難や、震災後の電気・水道のない生活、復興の中での学校生活など、自身の体験をもとに講話。自然災害から命を守るために、日頃から防災について考え、備えることの大切さを伝えている。

災害から命を守るために知って欲しいこと

伝えるポイント

- 住んでいた地域の被災状況
- 震災直後の息子の避難行動

12月15日(火) 16:15～16:55

高校生

2月4日(木) 11:00～12:00

小学校3・4年生

高橋 正子

たかはし しょうこ

震災当時、海に近い自宅に高校生の息子と義理の母がいた。大津波警報が防災無線から聞こえるなか、家族とは連絡が取れず、道路は寸断され自宅に戻ることはできなかった。翌日、地区全体が津波に襲われ自宅も含め流出したことを知る。2016年より地区の裏山に逃げた息子の様子がわかる絵本「なべのなった鐘」を用いながら伝承活動を続けている。

あいりちゃんからの命のメッセージ

伝えるポイント

- 母の悲しみ
- 何気ない日常の大切さ

1月13日(水) 11:00～11:40

小学校3・4年生

2月2日(火) 16:00～17:00

高校生

佐藤 美香

さとう みか

2006年に転勤で石巻市へ引っ越し、震災時は自宅で次女(3歳)と過ごしている時だった。長女(6歳)は高台の私立幼稚園にいたため安心していましたが、その管理下で犠牲に。震災後は、「日和幼稚園遺族有志の会」を立ち上げ全国への発信を続けている。紙芝居「あいりちゃんからの命のメッセージ」を用いた伝承活動と共に、2024年に絵本「2人の天使にあったボク」を出版。

自分と大切な人を守るには

伝えるポイント

- 震災当時の状況
- 感じていたこと
- 知ることの大切さ

1月13日(水) 13:30～14:10

小学校3・4年生

1月27日(水) 11:00～11:40

小学校5・6年生

武山 ひかる

たけやま ひかる

震災時は小学校4年生。地震後、家族と車で高台に避難したが、寒さのため自宅に戻ろうとしてしまい危険な状況に。自宅は全壊したため避難所から小学校に通った。震災後、多くの人が辛い思いをしたことを知り「事前に知識があれば」という思いと共に、あの時の子どもの気持ちも伝えている。2021年、震災関連の絵本「ひとりじゃない」を出版し、電子書籍で現在も販売している。

震災から学んだ『もしも』の備え

伝えるポイント

- 12歳の子供としての体験
- 震災後の生活
- 時間が経ってから気づいたこと
- 現在の備え

1月14日(木) 11:00～11:40

小学校5・6年生

2月9日(火) 13:30～14:30

小学校5・6年生

馬場 玲花

ばば れいか

宮城県石巻市出身。東日本大震災当時は12歳(小学6年生)で、小学校の視聴覚室で地震を経験。アパート1階にあった自宅は津波で全壊した。直後は母校の小学校で避難所運営の手伝いをしながら、祖母の家で避難生活を送った。その後、4年間の仮設住宅での暮らしと、仮設校舎での学校生活を経験した。現在は震災遺構門脇小学校のスタッフとして勤務し、2026年夏から語り部としての活動をスタート。

子ども達と3.11

伝えるポイント

- 友達を失った息子の痛み
- 117の大切さ

1月14日(木) 13:30～14:10

小学校5・6年生

2月2日(火) 13:30～14:30

中学生

石川 芳恵

いしかわ よしえ

東日本大震災の13年前に石巻市に家族と移り住む。3月11日の午前中は中学生の息子の卒業式だった。地震後は、地域の小学校の校庭に家族で避難したが直前に家をでた大学生の娘とは1週間以上連絡がとれなかった。震災後しばらくの間、震災を直視できずに生きてきたが、遺族となった友人との交流から、語り部になろうと決意する。

災害時の“ダメな”お手本

伝えるポイント

- 津波避難の大切さ
- 非常時の判断の難しさ

1月19日(火) 13:30～14:10

中学生

1月19日(火) 16:00～16:40

高校生

阿部 任

あべ じん

震災時は高校一年生。石巻市門脇町の実家で祖母と2人の時だった。裏山に避難せず2階にいたところ、家ごと津波に流れ9日後に救出された。判断を誤り、多くの人に迷惑をかけてしまった後悔と、メディアでは奇跡の救出として報じられたことによる世間とのギャップに悩んだ経験語る。

小・中学生にできること、やるべきこと

伝えるポイント

- 災害が起きる前にできる備え
- 自分の命を守るためにできること
- 防災教育を受ける側の視点から見た防災教育の重要性

1月21日(木) 13:30～14:10

中学生

2月4日(木) 13:30～14:30

小学校3・4年生

菊池 のどか

きくち のどか

釜石東中学校2年生の時に、防災担当の整美委員長となる。3年生の3月11日に東日本大震災が発災し、隣接する小学校の児童とともに避難する。その経験をもとに、2019年4月より、いのちをつなぐ未来館職員として語り部・ガイドを行う。2021年5月に誰でもわかる・取り組むことができる防災教育の推進を目指し、神戸出身の2人の仲間とともに株式会社 8kurasuを立ちあげ、現在は純乃社中に所属し語り部として活動中。

あの日の記憶と心情の変化

伝えるポイント

- あの日の記憶
- 伝承団体を立ち上げた経緯
- 語り部の大切さ

1月26日(火) 11:00～11:40

小学校3・4年生

1月27日(水) 13:30～14:10

小学校5・6年生

若生 遥斗

わこう はると

宮城県七ヶ浜町で小学二年生の時に被災をして、その後中学卒業後に「きずなプロジェクト」という震災伝承団体を立ち上げ、七ヶ浜を拠点に自作の紙芝居を県内の小・中学校に上演を行ったり語り部活動をしている。当時から気持ちの変化や語り部をする大切さを伝えている。

選べる2つのプログラム どちらも語り部さんと交流し、質問や感想などを共有できます!

40分

接続
チェック

はじまりの
挨拶

石巻市内の被害概要と
語り部さんの紹介

語り部さんのお話(20分)

語り部さんへ質問や
感想を共有(10分)

まとめ

おわりの
挨拶

40分プログラムよりも「語り部さんのお話」が10分間長いプログラムです!

60分

接続
チェック

はじまりの
挨拶

石巻市内の被害概要と
語り部さんの紹介

語り部さんのお話(30分)

校内で振り返る
時間(5分)

語り部さんへの質疑
応答・感想共有(15分)

まとめ

おわりの
挨拶

JRCオンライン語り部LIVE 2026 開催日程

対象が異なる校種の配信回にも、もちろん参加いただけます。
ご都合の良い日程にご参加ください!

小学校3・4年生

40分

プログラム

1月13日(水) 1月26日(火)

時間 11:00～11:40 佐藤 美香さん 若生 遥斗さん
13:30～14:10 武山 ひかるさん 畠山 興斗さん

60分

プログラム

2月4日(木)

時間 11:00～12:00 高橋 正子さん
13:30～14:30 菊池 のどかさん

小学校5・6年生

40分

プログラム

1月14日(木) 1月27日(水)

時間 11:00～11:40 馬場 玲花さん 武山 ひかるさん
13:30～14:10 石川 芳恵さん 若生 遥斗さん

60分

プログラム

2月9日(火)

時間 11:00～12:00 西城 楓音さん
13:30～14:30 馬場 玲花さん

中学生

40分

プログラム

12月10日(木) 12月15日(火)

時間 13:30～14:10
紺野 堅太さん 畠山 興斗さん
1月19日(火) 1月21日(木)

時間 13:30～14:10
阿部 任さん 菊池 のどかさん

60分

プログラム

2月2日(火) 2月19日(金)

時間 13:30～14:30
石川 芳恵さん 南場 優生海さん

高校生

40分

プログラム

12月10日(木) 12月15日(火)

時間 16:00～16:40 紺野 堅太さん
16:15～16:55 高橋 正子さん
1月19日(火) 1月21日(木)

時間 16:00～16:40 阿部 任さん
16:15～16:55 西城 楓音さん

60分

プログラム

2月2日(火) 2月19日(金)

時間 16:00～17:00
佐藤 美香さん 南場 優生海さん

Q & A

Q

いろいろな語り部さんのお話が聞きたいです。複数の日程で視聴してもよいですか。

A

視聴可能です。

Q

対象の日程に参加できません。

A

例えば、都合に合わせて小学校であっても対象をまたいで中学校の日程に参加いただくことも可能です。対象別に言葉遣いを変えていますので、その点はご了承ください。

Q

録画視聴はできますか。

A

語り部さんの意向により、録画配信は行っておりません。(第三者にお話の一部が切り取られて引用されるのを防ぐため)生配信での参加のみ受付となりますので、予めご了承ください。

Q

Zoomのアプリがないと視聴できませんか。

A

ブラウザからも視聴いただけますが、接続が不安定になる場合にはアプリでの視聴をおすすめします。

Q

当日接続がうまくできるか不安です。

A

参加校にメールでお送りするURLに正しくアクセスいただくと、〇月〇日〇時〇分～開催予定ですよという表示が画面上に出ます。また、当日の配信30分前から入室可能としていますので、早めの接続確認が安心です。

Q

参加中、自校だけ音声が入りません…

A

インターネット通信の安定している環境での視聴、Zoom上の音声に関する設定をご確認ください。開始前にアナウンスを行いますので、その声が届いているかご確認ください。

Q

当日注意することはありますか。

A

子どもたちの様子が語り部さんに見えるように配信中はカメラをオンにしてください。また、雑音が入らないようマイクはミュートにしてください。

申込方法

お申込みはMicrosoft Formsから受け付けます。
(入力ができない場合にはお問い合わせください。)

<https://forms.cloud.microsoft/r/pw0psBKdkf>

公益社団法人
3.11 メモリアルネットワーク
命をつなぐ 未来を拓く

お問い合わせ

住所:〒981-3117 仙台市泉区市名坂字石止44番7
TEL:022-725-7530 FAX:022-725-5150
MAIL:houshi@miyagi.jrc.or.jp

HPIはこちら